



心理学部の先生方、4年間ご指導いただきありがとうございました。

4年間という長いようで過ぎてしまうと一瞬だった大学生活は私たちの人生の大きな思い出となりました。

私はある社会人の方と話している時、心理学を学ぶのは大学ではなく本から得るのではダメなのかと聞かれたことがあります。今は本屋さんに行けばさまざまな本が売られているためそう疑問に思ったそうです。もちろん専門性の高さや、資格を取るためということ考えると大学で学ぶことのメリットは沢山あります。しかし私の場合、専門資格をとることは考えていませんでしたし、恥ずかしながら授業で習った知識を今いくつ思い出せるのかと聞かれるとあまり自信がありません。

しかし、そんな私でも大学で学んだからこそ得られた力があります。

それは、モノゴトについて考えるという力です。

知識を得て終わるのではなく、それについてどう考えて、仲間はどう考えたのか共有すること。

そのように考えることは、社会人になってどんな大人になりたいのかなあと自分の将来を考えるきっかけにもなりました。

そして将来に向かって動き始めるなかで大学生とは、社会に片足を突っ込みつつも大人に守られている立場であり、いざ、あんなことをしてみたい！こんな経験してみたい！と思った時に挑戦できてしまうだけの時間と自由のある期間でした。

もちろん何もかもうまくいくというわけもなく、全て投げ出したくなることも何度もありました。しかし、そうなったとき友人が助けくれたり、就活で悩んでいる時にはある先生から「自分の中での優先順位をしっかりと考えて決断しなさい

い、川上さんならそれができるから」というお言葉は頂いたりしたことで、再度頑張れるモチベーションを取り戻せたことを覚えています。

4月からの生活はきっと今よりも目まぐるしく、多くの失敗もするでしょう。しかし、悩んだ時もこれまでのようにその時の自分なりに一生懸命考えて少しずつ成長していけばいいのかなぁと思います。

大学で得た人との出会いと考える力を社会に出てもっと成長させていけることができればきっと今よりもカッコいい人間になれると思っています。先生方、これから先私たちは立派な社会人になって帰ってくるかもしれませんが、疲れ果てて帰ってくるかもしれません。よい報告ばかりできないかもしれませんが、どうかまた私たちの話を聞いてください！そして、先生方の率直な意見を頂けると嬉しいです。

最後となりましたが、心理学部の先生方、そして卒業生のみなさん、4年間ほんとうにお疲れさまでした。そして、ありがとうございました。お身体にお気をつけて、これからも頑張っていきましょう！

簡単ではありますが、以上で学生代表の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

